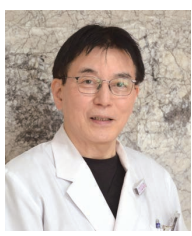


病院のこと・先生のこと。

医療法人社団 厚仁会 厚仁病院

〒763-0043 香川県丸亀市通町133
TEL 0877-23-2311
URL <https://koujinkai-kagawa.net/>



医療法人社団 厚仁会
厚仁病院
理事長

松山 毅彦 先生



医療法人社団 厚仁会
厚仁病院
副院長

濱近 草平 先生

▼ 病院のココが自慢！	最新の生殖医療を提供するように努めています。	アットホームな雰囲気で、何でも相談できる病院です(内科)
▼ 患者さんと接する時に大切にしていること	いつも真摯に患者様と向きあうようにしています。	患者さんが話しやすいように心がけています。
▼ 医師になろうと思ったきっかけ	特にきっかけがあったという記憶がありません。	子供の頃からの夢
▼ もし、医師になっていなかったら	IT産業でソフトウェアを開発していたかな？	学校の先生
▼ 先生が実践している健康法	ありません。しいていえばサプリ？チョコザップ？	早寝早起き
▼ 当院に期待すること	ハイレベルの周産期、小児医療を今後も続けていただきたいと思います。	重症例や専門治療が必要な患者さんのご相談を受けていただきたいと思います。(内科)
▼ どっち？	朝食は 休日は 犬派 猫派 和食 洋食 インドア派 アウトドア派	朝食は 休日は 犬派 猫派 和食 洋食 インドア派 アウトドア派
▼ 好きなこと(もの)ベスト3	① 鉄道 ② 車(国産スポーツカー) ③ PC MacマックとVAIOパイオ	① 子どもと遊ぶ ② 猫と遊ぶ ③ コーヒー
フリースペース	末長く厚仁病院をかわいがって下さい。	お子さんからお年寄りまで、どんなことでもご相談ください。



独立行政法人 国立病院機構

四国こどもとおとなの医療センター

〒765-8507 善通寺市仙遊町 2-1-1 TEL 0877-62-1000

<https://shikoku-mc.hosp.go.jp>
 交通機関 ▼善通寺 I.C より車で 5 分
 ▼ JR 土讃線善通寺駅下車徒歩25分





四国こどもとおとな



K O I F U M I

こ い っ も

ふ み

ふれあう医療を

みなさんと

こころを込めて

2025.08

vol.09

独立行政法人 国立病院機構

Shikoku Medical Center for Children and Adults®

四国こどもとおとなの医療センター

<https://shikoku-mc.hosp.go.jp>

地域の皆さまに「選ばれる病院」になるために

四国こどもとおとなの医療センター

院長 前田 和寿

地域の先生方には、いつも患者さんを紹介して下さり、有り難うございます。

4月の KOIFUMIの冒頭でも書かせていただきましたが、新たに消化器内科医師が2名増員となりました。4月より5名(1名病休)で診療を行い、地域の皆様のお役に立てるよう、スタッフも奮闘しています。

特集で、新しく赴任された先生を御紹介させていただいてますので、詳細はそちらをご覧ください。

また、ご存じの先生も多いとは思いますが、当院ではホスピタルアートに力を注いでいます。今年度から新たに、名誉院長の横田一郎先生を中心に、Healing garden projectを

立ち上げました。このプロジェクトは、病院南側にある、庭園をスタッフ、ボランティア、善通寺一高をはじめとする様々な地域の方々と共に、時間をかけて造っていこうというプロジェクトです。この庭が地域の皆様にとって憩いの場となることを願っています。

どうか病院にお寄りになったときには、庭が成長していく過程を是非一度見学などをしていただければ幸甚です。最後に、これからも当院は、地域の先生方にお役に立てるよう努力をして参りますので、ご指導ご協力を何卒よろしくお願ひします。

地域医療連携室からのご報告

四国こどもとおとなの医療センター

副看護師長 大西 真理子

平素より当院の地域医療連携にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。職員一同、患者さんが安心して医療を受けられるよう、地域の医療機関や介護施設、行政との繋がりを大切に日々務めています。当院では、地域の医療関係者の皆さまとのつながりを深めるために、年に一度、意見交換会の場を設けております。今年度は、7月17日に令和7年度地域医療連携室報告会を開催し、地域から29医療機関の医師、看護師、メディカルスタッフ合わせて52名のご参加がありました。

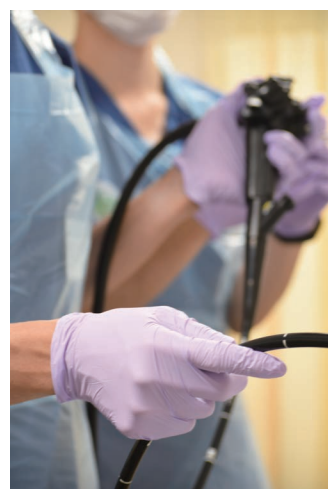


ました。前田院長の開会の挨拶を始めに、多田統括診療部長より今年度当院へ赴任された医師の紹介、東野副院長(地域医療連携室長)からは「地域医療連携室の現状」を報告致しました。続いて、四国こどもとおとなの医療センターに4月より赴任された消化器内科戸田拓也医師から「あたらしいSMCCA消化器内科の御紹介～慢性便

秘診療を添えて～」というテーマで講演して頂きました。当院消化器内科での治療経験症例を内視鏡写真と造影画像を用いて5症例報告した後に、慢性便秘診療について‘便通異常症診療ガイドライン2023’に沿った診断基準や便秘薬の選択の大切さについて講演を頂きました。地域からは、丸亀市医師会副会長である、もりもとこどもクリニックの森本雄次先生より開業後の取り組みと紹介患者の現状、そして今後取り組むべき課題についてご講演頂きました。先生方の講演の後に、ご参加いただいた皆さまと当院職員とで意見交換会を行いました。このような場を通じて、顔の見える関係づくりが少しずつ広がっていることを実感いたしました。地域医療連携は、患者さんの生活を支える大切な基盤です。今後も「顔の見える関係づくり」を大切にしながら、地域とともに歩む医療を目指してまいります。



消化器内科 特集



四国こどもとおとなの医療センター

消化器内科 村木 翔

2025年より四国こどもとおとなの医療センター 消化器内科に着任しました村木と申します。私は2020年から2022年まで当院で勤務しており、当院は2度目になります。これまで大学病院や関連施設で消化器全般にわたる診療経験を積んできましたが、特に消化管・胆膵領域の内視鏡診断・治療を中心に経験を重ねてまいりました。

当科は本年度より私を含め若手医師3名を中心とした診療体制になりました。当科はもともと消化器診療において、特に消化器救急診療において医療圏の中核的な役割を担っていたと認識しておりますが、近年人員不足のため規模を縮小せざるを得ない状況が続いておりました。しかし本年度より常勤医師が増員され、内視鏡診療の実施がよりスムーズになり、予定検査に加えて消化管出血、胆管炎、消化管異物など緊急内視鏡が必要な症例を受け入れる素地が整いつつあります。今後地域の医療機関の先生方からの緊急のご紹介にできる限り柔軟かつ迅速に対応できるよう診療体制を強化してまいります。

待機的症例では、外部講師の指導を仰ぎながら、早期消化管癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)や胆膵疾患に対する内視鏡的逆行性胆管膵管造影(ERCP)関連手技、超音波内視鏡(EUS)関連手技などに積極的に取り組んでおり、各々が研鑽を積んでおります。上記疾患でお困りの症例がございましたら、お気軽にご紹介いただけましたら幸いです。

地域の医療機関の先生方と連携しながら、医療圏の消化器診療の質の向上に貢献できるよう頑張っております。どうぞ今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



四国こどもとおとなの医療センター

消化器内科 福家 和諭

平素よりお世話になっております。2025年4月から、四国こどもとおとなの医療センターにて消化器内科として勤務させていただいております福家和諭と申します。

2020年に香川大学を卒業後、高松赤十字病院にて2年間の初期研修を行ったのち、香川大学消化器内科・神経内科学に入局しました。引き続き2年間高松赤十字病院消化器内科にて勤務したのち、2024年4月から1年間香川大学病院にて勤務しておりました。

高松赤十字病院での初期研修医時代に幅広い症例を担当する中で、ESDやERCP、TACE、RFAなど様々な処置を経験しました。また、処置だけではなく悪性腫瘍に対する化学療法なども経験しました。これらの経験を通して命に直結する疾患を多く扱う消化器内科に強い使命感を抱き、同分野を専門に選びました。

日々の診療では「患者さん一人ひとりに寄り添う医療」を大切にし、今後は、最新の知見や技術も積極的に取り入れながら、地域に根ざした質の高い医療の提供を目指したいと考えております。精一杯頑張りますので、何卒よろしくお願い申し上げます。



四国こどもとおとなの医療センター

消化器内科 戸田 拓也

今年度から四国こどもとおとなの医療センターに配属となりました、消化器内科の戸田拓也と申します。

消化器内科を専門とし、これまで診療に携わってまいりました。胃や大腸、肝臓、胆嚢、膵臓などの疾患を対象に、丁寧でわかりやすい説明を心がけ、患者さん一人ひとりに寄り添った診療を大切にしております。特に内視鏡検査・治療に力を入れており、苦痛の少ない検査を目指して日々工夫を重ねております。

また、早期発見・早期治療を重視し、病気の予防や健康管理にも積極的に取り組んでおります。

常に新しい知識や技術の習得に努め、少しでも地域の皆様のお力になれるよう精進してまいります。どうぞお気軽にご相談ください。よろしくお願いいたします。

